

「食の安全に関するリスクコミュニケーションの改善に向けて（案）」

新旧対照表

修正箇所 (新の頁)	新 (1 0 月 2 3 日)	旧 (8 月 4 日)	修正理由
p.18 30 行目	リスク評価機関とリスク管理機関の連携はもとより、行政、消費者、事業者、生産者など食の安全に関わるすべての関係者が正しくリスクを認知して、他の関係者の立場、考え方を理解し、今後の進むべき方向について考えることができるようにしていくことを目指す。このため、現行のリスクコミュニケーションを改善するための目標として、以下を掲げることとする。	行政、消費者、事業者、生産者など食の安全に関わるすべての関係者が正しくリスクを認知して、他の関係者の立場、考え方を理解し、今後の進むべき方向について考えることができるようにしていくことを目指す。このため、現行のリスクコミュニケーションを改善するための目標として、以下を掲げることとする。	国民からの御意見・情報の募集において、御意見をいただいたことによる。
p.21 34 行目 35 行目	(2) 審議の経過に関する <u>透明性の確保と情報提供のあり方</u> <u>リスク評価機関における透明性・独立性の確保の観点</u> を踏まえ、審議と詳細な議事録を公開することと、審議の要約を公開することのメリットと、デメリット及び、審議を公開しない場合のデメリットや、これらによる人々の信頼性確保への影響を考慮し、効果的な審議、議論を行う方法についても、今後検討していく必要がある。	(2) 審議の経過に関する情報提供のあり方 審議と詳細な議事録を公開することと、審議の要約を公開することのメリットと、デメリット及び、審議を公開しない場合のデメリットや、これらによる人々の信頼性確保への影響を考慮し、効果的な審議、議論を行う方法についても、今後検討していく必要がある。	国民からの御意見・情報の募集において、御意見をいただいたことによる。

注：上記以外に文言の統一を実施。